




美男美女カップルの
奴隸になった僕

ミスコングランプリ


マゾ男

第三章





突然だけど、お前を譲渡することになったから。
こないだボコってくれたあやって子覚えてるでしょ？
その子とその彼氏に譲渡するの。



お前のアパートの鍵と貞操帯の鍵、免除書とか全部渡してあるから。
お貢ぎも今後はあや達だね。

お貢ぎも今後はあや達だね。

おつかれさま。あ、奴隷くん久しぶりー！
まだ生きてたんだね（笑）

噂の奴隷はこいつかあ。
陰キヤだし、見た目じゃから奴隷感あるわ。



あああ…

目、目があ…申し訳ありません！

すぐに全裸になって土下座します！

次は失明させるから。
わかったらさっさとする。





二日目

暑さで眠ることもできず、一日中水のことを考えていた。
排泄は倉庫の奥でしていたが、
ニオイは倉庫中にひろがり、
悪臭で鼻がおかしくなりそうだった。

大学内では何でも言うことを聞く奴隷として有名になり、
お二人以外からも遊び半分でいじめられるようになっていた。

「他の学生の命令はすべて従え。」ときつくいわれていたので、
知らない学生からの命令も絶対だった。

ときには高校を卒業したばかりの
1の代女子の靴裏を舐めさせられたり…

きもーい(笑)

本当に舐めてるよーいっ。

少しでも汚れが残ってたら

前歯全部へし折ってあげますからね？

そういうのが好きな変態なんですよね(笑)

ほらいくぞ。ありがたく飲めよ。

きやははは。ほんとウケる。
男のオシッコ飲みながらもオナニー続けるとか(笑)
もはや人間じゃなくて便器だね。





えー。どうしよっかなあ。

このままじゃ野垂れ死んじやいそうだしね（笑）
私達も鬼じゃないし、
ちやんと頭を地面に擦り付けてお願いすれば、
考えてあげなくもないけど。